

# 平成29年度事業報告

## 1 事業の状況

### (1) 公益目的事業 1

#### 植村直己の業績についての展示公開に関する事業(定款第4条第1号関係事業)

##### 【植村冒険館の管理運営】

##### ① 植村冒険館の運営

所在地 東京都板橋区蓮根2-21-5  
建物 延床面積518.77㎡  
展示室 76.60㎡、情報コーナー 42.70㎡  
開館時間 午前10時～午後6時  
開館日数 306日〔休館日：月曜（祝日のときは火曜）、年末年始〕  
来館者数 16,294人（53.2人/日）  
入館料 無料

##### ② 情報コーナー資料収集整備

情報コーナー利用者数 9,521人（31.1人/日）  
資料数（平成29年度末）  
・書籍 8,746冊（前年度8,616冊）  
・定期刊行物 7種  
・山岳団体会報・報告書等 49団体 407部

##### ③ その他の事業

- ア 広告掲出（国際興業バス車内放送）
- イ 区民まつり会場でのPR活動（豊岡市植村直己冒険館と共同出店）
- ウ 加盟関連団体  
日本山岳会、東京都博物館協議会
- エ 植村冒険館友の会  
会員数 平成29年度末 293人（前年293人）
- オ その他の取材等協力  
撮影協力：ニコンミュージアムで上映する映像向けの撮影対応  
校正など：河出書房新社発行「温泉天国」で植村氏の文章を再掲載するにあたり、年表等の内容確認を行った
- カ 遺品の貸出  
ニコンミュージアムの常設展示（ニコンF2チタン/ウエムラスペシ

ャルのコーナー) に関係資料を平成30年12月まで貸出中

**【資料収集・保存及び調査・研究】**

① 遺品等の収集及び保存

収集資料累計 1,851点 (設立時 1,604点)

29年度収集資料: 2件 (植村氏が大森孝氏に宛てたハガキを額装したもの/大森彰子氏寄贈) ほか

② 遺品に関する調査

所蔵遺品の点検、

展示終了後、1984年マッキンリーの装備をトランクルームへの収蔵

③ 業績・関係者に関する調査

雑誌、放送番組、来館者、外部からの問い合わせに対する調査と情報提供

**【展示事業】**

植村冒険館: 通年開催 (277日)

入室者数 6,773人 (24.5人/日)

① 植村冒険館企画展

	タイトル	期 間	入室者数
	内 容		
継続 開催	<b>メモリアル展 山頂に残された旗</b>	*3月10日から 継続開催	266人 29.6人/日
	マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介した。また、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。	4月 1日～ 4月11日 ( 9日間)	
1	<b>植村直己・単独行</b> ～その冒険精神の原点を見つめる～	4月21日～ 7月 5日 (65日間)	1,568人 24.1人/日
	単独冒険の詳細をさぐりながら、植村直己の冒険精神の原点を紹介する展示を行った。		
2	<b>五つの大陸の頂点をめざせ!</b> ～植村直己、世界初五大陸最高峰登頂までの道のり～	7月14日～ 9月 5日 (46日間)	1,205人 26.2人/日
	ヨーロッパ最高峰モンブランの登頂に始まり、五つの大陸の最高峰すべてに登頂するまでの足跡を写真パネルなどで紹介した。		

	タイトル	期 間	入室者数
	内 容		
3	<b>地図を広げて</b> ～植村直己のマップコレクション～ 北極圏1万2千キロの冒険で使用した地図を中心に紹介する収蔵品展を行った。	9月15日～ 1月24日 (107日間)	2,158人 20.2人/日
4	<b>メモリアル展 山頂に残された旗</b> マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介した。また、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。	2月1日～ 3月31日 (51日間) *4月10日まで 継続開催	1,576人 30.9人/日

## ② その他の展示

ア 板橋区立少年自然の家八ヶ岳荘「写真展」(通年)

イ 板橋区立榛名林間学園「写真展」(通年)

ウ 板橋区役所1階ギャラリーモール

「冒険家・植村直己 たったひとり、世界を駆ける」

期間：7月18日～9月1日

エ 板橋区小茂根図書館

「冒険家・植村直己の足跡」

期間：11月13日～11月23日(11日間)

オ 学校展示/高島第一中学校

期間：1月20日(学校見学会) 生徒数：419人

カ 小学生向け自由研究「地球たんけんパスポート」配布

期間：7月21日～8月31日(36日間) 201人

キ 「さらなる冒険」スタンプカード配布

「地球たんけんパスポート」の時に登録してスタンプカード発行。これを持参し、3回来館した小学生に景品を贈呈

期間：9月15日～12月28日(※切：10月、11月、12月)

登録者数：154人/景品引き替え：42人

ク 「クール!ザ・冒険館」南極「ミニ」体験

南極の氷と網走の流氷に触る、ミニ・ブリザードの中で風速を測る、観測隊員の防寒服を着て記念撮影など、展示室内で南極「ミニ」体験を実施(来館者全員対象)

期間：8月1日～2日(2日間) 190人(展示室入場者)

### 【財団設立25周年記念事業】

日 時 : 平成29年11月20日(月) 午後6時から  
 場 所 : 板橋区立文化会館大ホール  
 内 容 : (1) 記念講演会  
           ① 映像上映「植村直己の足跡」  
           ② 夢枕獯氏による記念講演「生きることは冒険だ」  
 (2) 関係者懇親会  
 参加者数 : (1) 記念講演会 589人  
               (2) 関係者懇親会 79人  
 収 入 : 60,000円(広告収入)  
           134,000円(懇親会会費収入)

### 【公益目的事業1の決算状況】

(単位:円)

事業項目		予算額	決算額
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		35,962,000	26,876,525
内 訳	(1) 冒険館の管理運営	23,426,000	19,415,624
	(2) 資料収集・保存及び調査・研究	1,103,000	839,696
	(3) 展示公開	6,933,000	3,946,721
	(4) 周年記念事業	4,500,000	2,674,484

## (2) 公益目的事業2

### 自然への関心を高めるための実体験事業(定款第4条第2号関係事業)

#### ① 自然塾の実施

小・中・高校生を対象に、自然の中での活動を通じて、「ウエムラ・スピリット」に通じる強く生きるための力、人間らしい生き方を学んだ。

実施回数12回 参加者361人

回数	プログラム名	実施月日及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
1	マウンテンバイクツーリング～荒川走破にチャレンジ～(中高生)	5月3日～5日 【2泊3日】	中高生 10人
	荒川流域 三峰口駅(埼玉県秩父市)～葛西臨海公園(東京都江戸川区)までの155kmのマウンテンバイクツーリングに挑戦した。		

回数	プログラム名	実施月日及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
2	<b>カヌーチャレンジキャンプ (小学4年生～高校生)</b>	6月10日～11日 【1泊2日】	小学生 29人 中高生 5人 計34人
	水郷小見川少年自然の家(千葉県香取市) テント泊・自炊をしながら、カヌーの操船に挑戦した。 2日目には自然の波や流れ、風を体験するため、黒部川へ漕ぎ出した。		
3	<b>日本一に挑戦! 3776mの頂へ 富士登山 (小学4年生～高校生)</b>	7月25日～27日 【2泊3日】	小学生 17人 中高生 15人 計32人
	富士山、国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場市) 富士宮口五合目からスタートし宝永火口を通過して、山頂を目指した。天候悪化のため、8合目で下山した。		
4	<b>伊豆大島まるごとキャンプ～海と大地の自然を体験しよう～(小学4年生～高校生)</b>	8月15日～19日 【4泊5日】	小学生 27人 中高生 16人 計43人
	伊豆大島、トウシキキャンプ場(東京都大島町) テント泊・自炊をしながら、三原山ハイキングや海釣り、シュノーケリングに挑戦した。		
<b>ステップアップアドベンチャー (小学4～6年生) 全4回の継続プログラム</b>			
5	<b>第1回 オープニングチャレンジ</b>	9月18日 【1日】	小学生 31人
	黒川青少年野外活動センター(神奈川県川崎市) 火を起こし、ドラム缶でのピザ作りに挑戦した。また、課題解決ゲームに挑戦し、チーム力を育んだ。		
6	<b>第2回 サバイバルチャレンジ</b>	10月14日～15日 【1泊2日】	小学生 29人
	野島公園(神奈川県横浜市) テント泊・自炊に挑戦した。食事は、潮干狩りでアサリを手に入れ、チームごとにオリジナルの料理を作った。		
7	<b>第3回 ヤブこぎチャレンジ</b>	11月26日 【1日】	小学生 28人
	越生駅～西山高取周辺(埼玉県越生町) 地図の読み方とコンパスの使い方を学び、西山高取の頂上を目指して、ヤブこぎに挑戦した。		
8	<b>第4回 高取山登山に挑戦</b>	12月26日～27日 【1泊2日】	小学生 30人
	愛川ふれあいの村、高取山(神奈川県愛甲郡愛川町) テント泊・自炊で、高取山登山に挑戦した。これまでの活動で身に着けた知識やスキル、チームワークを発揮する集大成の挑戦となった。		

回数	プログラム名	実施月日及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
9	フィッシングでサバイバルキャンプ (中高生)	10月8日～9日 【1泊2日】	中高生 12人
	野島公園周辺 (神奈川県横浜市) 海辺で野宿をしながら、釣りに挑戦した。釣りあげた魚を、自分たちでさばいて食事作りに挑戦した。		
10	かまくらづくり&スノーシューハイクに挑戦! (小学4年生～高校生)	1月5日～7日 【2泊3日】	小学生 27人 中高生 5人 計32人
	国立妙高青少年自然の家 (新潟県妙高市) 雪上で安全に快適に過ごすための知識を学び、雪深い森の中でスノーシューハイクに挑戦した。中高生は、自分たちで作ったかまくらでの1泊に挑戦した。		
11	自分の限界に挑戦! オーバーナイトウォーキング (小学4年生～高校生)	2月24日～25日 【0泊2日】	小学生 31人 中高生 21人 計52人
	小学生: 新河岸駅から植村冒険館までの30km 中高生: 森林公園駅から植村冒険館までの50km 毎年恒例の徹夜歩行。寒さと眠気に耐え、参加者全員が完歩した。		
12	クロスカントリースキーに挑戦! (小学4年生～高校生)	3月25日～27日 【2泊3日】	小学生 21人 中高生 7人 計28人
	国立磐梯青少年交流の家 (福島県耶麻郡猪苗代町) 道具の使い方やコツを学び、クロスカントリースキーに挑戦した。2日目には森の中を自分たちでコースを作りながら滑った。		

## ② アドベンチャー講座の実施

「ウエムラ・スピリット」に基づく、一般成人を対象とした自然体験講座の実施により、自然との触れ合い及び人と自然との関わりを体得する機会を提供し、登山などを安全に楽しむための正しい知識の普及と、自然を慈しむ精神を養うと共に、植村直己の冒険心についての理解を深めるための事業。

実施回数5回 参加者 161人

	実施月日	実施場所	種別	参加	リーダー・講師
1	5月27日～28日	八風山・草津白根山	登山	31	節田重節・山口章
2	7月28日～31日	鹿島槍ヶ岳	登山	36	節田重節・原邦三
3	9月9日～11日	雨飾山	登山	37	大谷映芳
4	10月28日～29日	安達太良山	登山	35	原邦三
5	3月3日～4日	鹿俣山・谷川岳	雪山登山	22	山本篤ほか

【公益目的事業2の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
自然の中での実体験事業		22,719,000	19,987,853
内訳	(1) 青少年対象「自然塾」	15,026,000	13,923,148
	(2) 一般対象「アドベンチャー講座」	7,693,000	6,064,705

\*参加者負担金収入額 = 12,918,250 円  
 自然塾 : 6,120,750 円  
 アドベンチャー講座 : 6,797,500 円

(3) 収益事業等（その他の事業1）

その他、目的を達成するために必要な事業（定款第4条第3号関係事業）

【関連物品販売事業】

植村直己著書及び関連図書・DVD・野外活動用品等を来館の記念として販売

・グッズ等販売収入 943点（33種） 800,296円  
 （内訳） 図書： 182点 309,034円  
           DVD： 56点 166,797円  
           物品： 705点 324,465円

【収益事業等の決算状況】

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額
関連物品販売事業	2,000,000	1,828,623